

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月13日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県知多郡武豊町字竜宮1番地1

氏 名 J E R Aパワー武豊合同会社

代表職務執行者 中川 哲

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0569-72-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	武豊火力発電所
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字竜宮1番1
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電気業
②事業の規模	設備容量：1,070,000 (kW)
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

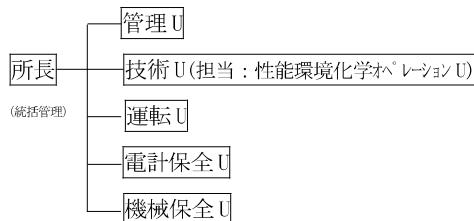
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

排出事業者  
J E R Aパワー武豊合同会社

代表職務執行者 事業管理部長

【業務委託契約】  
株式会社 J E R A 武豊火力発電所



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※	
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	発生する燃え殻・ばいじんを全量有効利用できるよう再生利用業者へ処理委託した。(排出量は、火災事故により発生元となる設備が停止していたため、過去の実績に比べ大幅に減少)		
	※ 別紙2参照		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別困難な廃棄物の排出は無く、すべての廃棄物について、種類ごとに分別をした。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、すべての廃棄物について分別を実施する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	t	t
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	t	t
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	※	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t

(これまでに実施した取組)

廃棄物処理委託は、再生利用業者の事業内容・再生内容等を隨時確認し積極的な再生利用処理を推進した。  
(処理委託量は、火災事故により発生元となる設備が停止していたため、過去の実績に比べ大幅に減少)

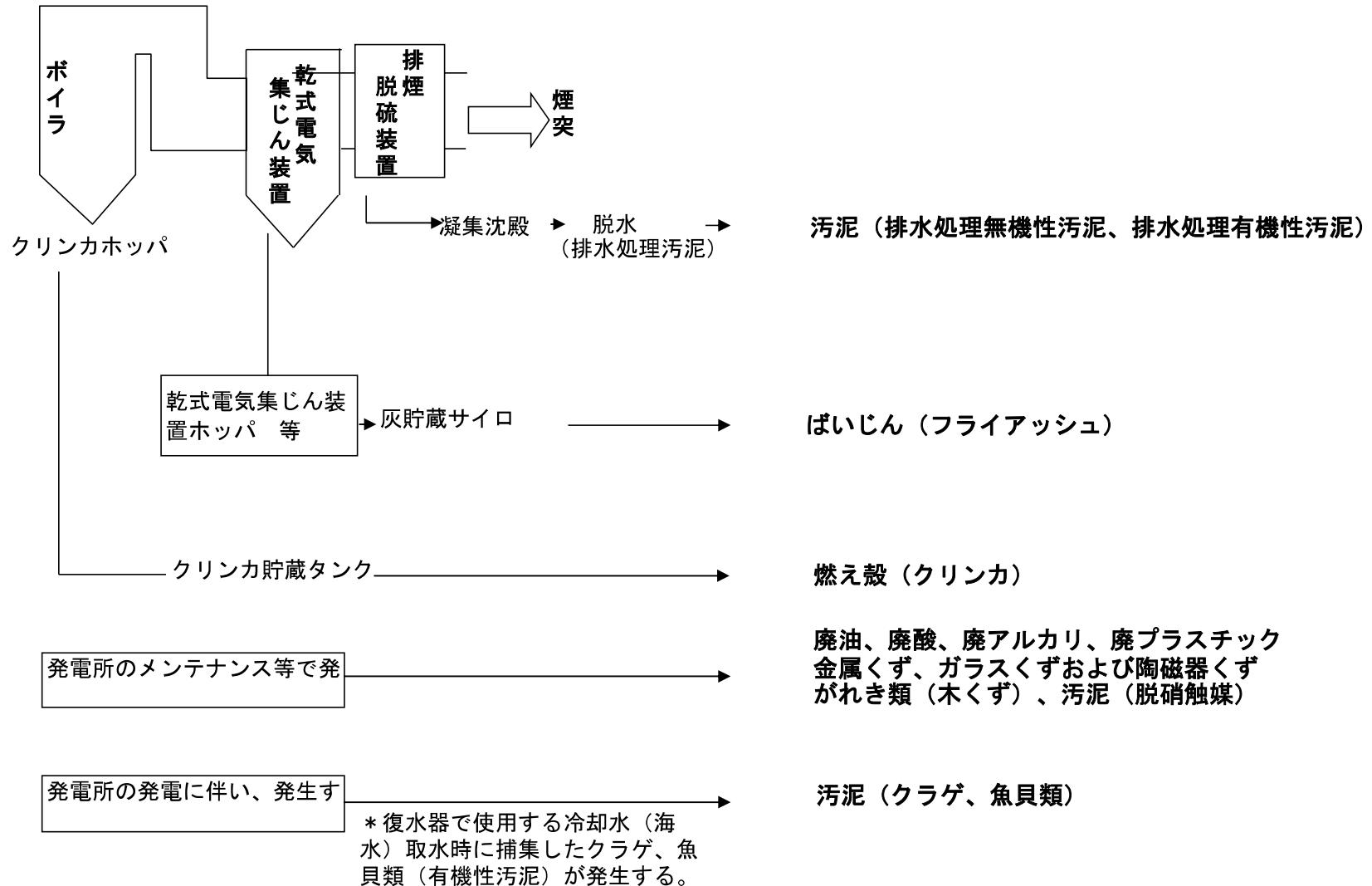
※ 別紙3参照

【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	※	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)  引き続き、発生する廃棄物について、積極的な再生利用処理を推進する。(処理委託量は、火災事故による影響で、発生元となる設備の計画的な停止があることから、過去の実績に比べ減少する予定)  ※ 別紙3参照			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 武豊火力発電所 産業廃棄物発生フロー図



別紙－2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項  
【前年度(2024年度)実績および計画(目標)】

産業廃棄物の種類	前年度(2024年度) 実績 排出量(t)	計画(目標) (t)
汚泥	1,095	1,620
廃プラスティック類	4	4
廃油	21	15
廃酸	0	0
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	0	0
金属くず	0	0
燃え殻	8,003	23,246
ばいじん	64,182	157,174
合計	73,304	182,059

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 1 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【前年度(2024年度)実績】

産業廃棄物の種類	処理委託量				
	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	1,095	837	1,063	0	0
廃プラスティック類	4	4	0	1	0
廃油	21	21	0	13	8
廃酸	0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0
燃え殻	8,003	5,343	7,948	0	0
ばいじん	64,182	43,479	64,182	0	0
合計	73,304	49,683	73,193	14	8

## 2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】

産業廃棄物の種類	処理委託量				
	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	1,620	1,570	1,550	20	0
廃プラスティック類	4	4	4	0	0
廃油	15	15	0	15	0
廃酸	0	0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0
燃え殻	23,246	3,658	23,246	0	0
ばいじん	157,174	98,070	157,174	0	0
合計	182,059	103,317	181,974	35	0